

## 群馬・長野における豊かな環境を活かした多様な広域周遊観光計画

### 群馬県及び連携する長野県の現状

群馬県・長野県間においては、「草津温泉」「富岡製糸場」「善光寺」等の観光拠点が集積し、両県間の周遊観光も盛んである。

また、令和2年10月3日には世界遺産として登録されている「富岡製糸場」にて国宝「西置繭所」がオープンするなど、本地域の観光立地の優位性が高まっている。

### 課題

観光拠点間の交通の円滑化を図り、周遊観光を促進する道路整備等を推進する必要がある。

### 目的

両県の持つポテンシャルを活かすため、群馬県・長野県の両県をつなぐ広域観光周遊ルートを整備し、広域交通ネットワークによる周遊観光を促進することにより、本地域の更なる観光活性化を図る。

### 整備効果の検証

（A11-003（国）406号 荻生1期工区）

群馬県と長野県を繋ぐ（国）406号にて狭隘区間の現道拡幅を行うことで快適な交通を確保し、群馬県の観光拠点「草津温泉」における観光入込客数がH28年からR5までに12.5%増加した。新型コロナウイルス拡大による外出抑制期間を経た上で観光入込客数が増加傾向にあり、広域観光周遊ルートの整備が観光活性化に寄与していることが確認できる。

### 事業の指標と成果報告

#### 指標1 連携する2県の観光拠点における観光入込客数の増加

観光入込客数 = 日常生活圏以外の場所へ旅行し、そこでの滞在が報酬を得ることを目的としない者

現況: 2,211万人(H28) ⇒ 目標: 2,335万人(+5.6%)  
⇒ 実績: 2,073万人(-6.2%)(R5)

#### 指標2 群馬県の観光拠点における観光入込客数の増加

現況: 792万人(H28) ⇒ 目標: 841万人(+6.2%)  
⇒ 実績: 721万人(-8.9%)(R5)

#### ■ 目標未達成の要因

R2年～R4年にかけて新型コロナウイルスの感染が拡大し、緊急事態宣言等の発令により外出が抑制されたことで、R元年までと比較して、群馬県全域で観光入込客数が大きく減少したことが要因と考えられる。

#### ■ 事業の成果

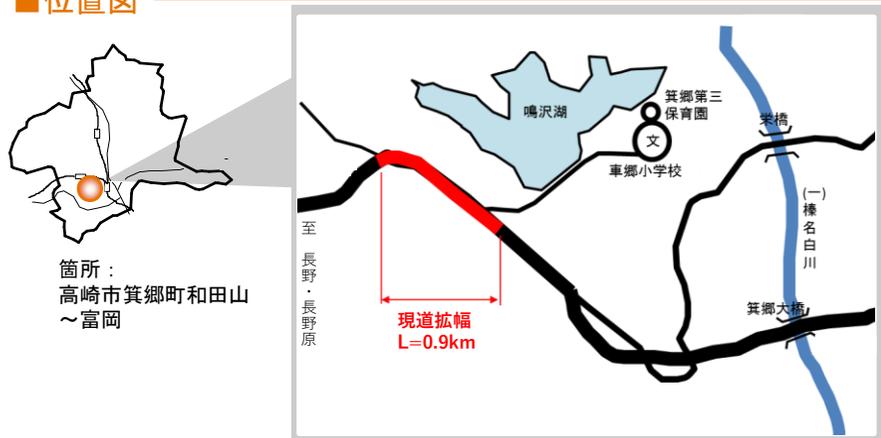
感染症拡大下において、群馬県の観光拠点における観光入込客数は**39万人増加**しており、本事業が観光活性化に寄与していることが確認できる。

# 群馬・長野における豊かな環境を活かした多様な広域周遊観光計画

## 整備効果事例

### 事例① (一) 箕郷板鼻線 富岡工区

#### ■位置図



#### ■整備効果



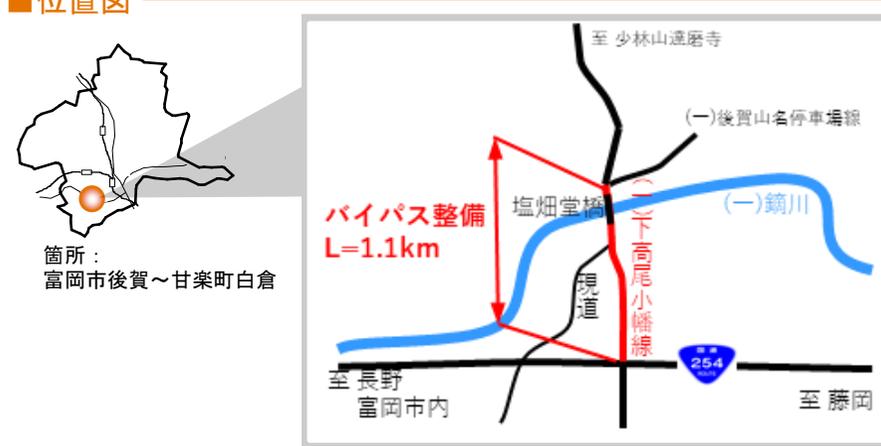
幅員が狭隘で歩道も無く、観光拠点へのアクセスや住民の安全に支障をきたしていた。



拡幅や歩道設置により課題が解消し、アクセス性や安全性が向上した。

### 事例② (一) 下高尾小幡線 庭谷工区

#### ■位置図



#### ■整備効果



現道の幅員が狭隘であり、富岡市内から観光拠点へのアクセスに支障をきたしていた。



バイパス整備により幅員の課題が解消され、観光拠点へのアクセス性が向上した。